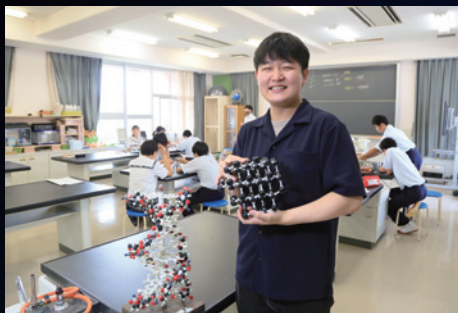




▲佐野嵩征さんは中学時代、科学部に所属。音響工学に興味をもち、個人的にさまざまな実験に取り組んでいました。



◀中高6年間所属した吹奏楽部で、岸本宇信さんは先輩をロールモデルに人間性の部分でも大きく成長しました。

▶佐野さん、岸本さんの恩師である理科担当の清水健一先生（左）と社会科担当の関口俊洋先生（右）と「学習センター」にて。「下校時間後も学校で勉強したい!」という生徒からの声に応じてスタートした学習センターは、放課後午後3時から8時まで利用可能。難関大学在学中のチューターが常駐し、生徒の質問に対して正答が導き出せるよう指導しています。岸本さんと佐野さんは、現在、同センターにてチューターを担当しています。



きしもと たかのぶ
大学で物理学を学びながら、中高時代から取り組んできた脳の神経回路シミュレーションの個人研究も継続。医学の道をめざしていたこともあり、「医療へ応用できるよう、研究を続けたい」と岸本さん。

さの こうせい
中高時代に興味をもった音響工学を学ぶため、現在の大学・学部へ進学。AIにも興味をもち、「人間が感覚で把握している事象をAI解析でデジタル化し、実社会に役立てたい」と、将来を模索中。

理数教育 の その先へ

私学の学びが理数の未来へ

小学校時代から数学や計算が好きだったという2人。中高時代は幅広い分野を学び部活動や委員会活動でも活躍。「理数の道へ進むうえでも課外活動の経験が強みになっている」と中高時代を振り返ります。

“挑戦”をサポートする校風 やりたいことを追求することで 学びへの探究心が育つ

埼玉平成

【埼玉県入間郡・共学校】

この学校の
情報は
「School-pot」へ



チャレンジ精神を評価し 高度な学びを支援

「為すことによって学ぶ」を建学の精神に、開校以来多くの体験の場を提供し続けてきた埼玉平成。卒業生の佐野嵩征さんと岸本宇信さんの中高時代の学びも、まさに能動的に「為す」ことによって身についたものです。2人とも声を揃えて「本当にいろいろなことに挑戦させてもらいました」と中高時代を振り返ります。

「中2から高3まで積極的に取り組んだ生徒会活動では、意見箱の改善や校内放送のラジオ番組制作など、思い出がいっぱいです」そう語るのは、現在、上智大学理工学部で情報理工学を専攻する佐野嵩征さんです。

「特に印象に残っているのは高2の文化祭で、ラジオDJとしてステージに登壇した時のことです。大歓声を受けた喜びや達成感が原体験となり、「今この時にしかできないことは、躊躇せず積極的にやる」という姿勢を、現在もポリシーとして貫いています。

自分は音響工学に興味があり、在校中から独自に実験を行っていました。そうした活動を先生方がサポートし、チャレンジ精神や行動力を評価してくれました。このような環境にいたからこそ、自分

なっていると思います」

幅広くいろいろなことに興味をもっていた岸本さんは、同校での実践的な学びが、現在につながっていると話します。

「中高時代、どの先生も労力を惜しまず、多彩な実験やフィールドワークなどを行ってくれましたし、プレゼンや研究する機会も多くありました。先生も生徒と一緒に考えてくれるので好奇心が満たされ、「もっと自分の興味・関心を探究していこう」という気持ち

風通し良く規律ある校風が 充実した学校生活に

中高時代を振り返ると、「生徒と先生の距離が近く、のびのびとした校風ですが、規律はしっかりしていた」と佐野さん。そうしたメリハリある学校生活によって、楽しく充実感のある中高時代を送ることができたと言います。

「先生は頼りがいがあって優しいですが、生徒も先生も引くべき一線はわきまえていました。身だしなみや挨拶などの生活指導もきちんとしていて、それも自分には合っていたと思います。

今も卒業生として学校を訪れるたび、グラウンドで練習中の野球

の個性が活かされ、興味・関心を伸ばしていったと感じています」現在、東京理科大学理学部第一部で物理学を専攻する岸本宇信さんも、在学中に先生方からサポートを受け、学びの幅がさらに広がったと言います。

「数学が大好きだった自分のために、先生方は中学時代から高校レベルの数学を教えてください、この問題にも挑戦してみたら」と提案もいただきました。

高校生で神経回路に興味をもち始めると、「こんな研究もあるよ」と論文や書籍を紹介してもらったり、先生の専門知識を活用したアドバイスもいただいたりと、個人的な興味にも寄り添ってくれたのです。

学びのスキルだけでなく 培った人間性が強みに

小学校時代から計算が得意で、現在まで一貫して理数系への道を進んでいる佐野さんと岸本さん。2人を指導した理科担当の清水健

部員から「こんにちは」という大きな声が響いてきて、本当にいい学校だと実感します」

中高6年間、吹奏楽部に所属した岸本さんは、部活動の先輩にも大きく影響を受けたと言います。「中学時代、高校生の先輩が優しく接してくれたことに感激しました。そうした先輩を見て、寛容な心や協調性などを学びました。部活動や委員会活動を通じた人間的な成長に伴って、学力も伸びていったように感じています。

また、6年間一緒に成長した友人たちには、強い絆を感じています。6年間あるので、もし関係がこじれても、時間をかけて修復することができます。そうした経験を通して人への信頼を学び、人と深く関わることに、積極的になれたと思います」

こだわりの 場所



佐野さんと岸本さんは在学時、生徒会の先輩・後輩という関係でした。そんな2人にとって、生徒会本部は思い出の場所。さまざまな活動を通して多彩な活躍を見せました。